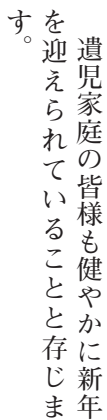


理事長
鈴木俊



目でもあり、5年ごとに刊行している「漁船海難遺児と母の文集」を出版いたしました。本書には遺児や母親の思いが綴られております。漁業に携わる全ての方に読んでいただき、悲劇を繰り返さぬよう安全第一の操業を心掛けていただきたいと願っております。海での安全は、自らの命のみならず、子どもたちの未来を守ることにつながります。

現在、育英会では110名余の遺児を支援しております。子どもたちが社会に巣立つまでには長い年月を要し、息の長い支援が必要です。皆様から継続的なご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、すべての人に希望に満ちたものとなりますよう祈念いたします。子どもたちが夢を育み、未来へ歩む姿を共に見守っていただければ幸いです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

会は、これからも皆さま一人ひとりに寄り添い、心の支えとなるよう努めてまいります。どんな時も皆さまの思いに耳を傾け、笑顔や安らぎに繋がる活動を続けていく所存です。

春の訪れはまだ先ではあります。が、新しい年は未来への新たな一歩を踏み出す大切な機会でもあります。どうか、ご家族とともに健康で温かな日々を重ね、皆さまご自身の夢や願いへ向かって、少しずつ歩まれますよう心より願っております。

結びに本年が、皆さまにとって実り多く、心あたたまる出会いや学びに恵まれた素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



に心よりおくされた皆さまが、その深い悲しみを胸に抱えながらも、懸命に

皆さまが無事に新年をお迎えになられたことを、私たち浜のお母さんたちも心から嬉しく感じております。寒さ厳しい折ではありますが、そうした中でも小さな希望の光を見いだしながら、また一年を歩み始められたことと思ひます。

日々を過ごしてこられたことに改めて心より敬意を表します。悲しみは決して簡単に癒えるものではなく、折々に思いが去来することもあるかと存じます。しかし、そうしたなかでも前を向き、歩み続けてこられた皆さまのお姿は、私たちにとって大きな励ましであ

これまでの年月のなかで、かけがえのないご家族を海の事故で亡

り、学びでもあります。

私たち全国漁協女性部連絡協議

なりますよう、心よりお祈り申し上げます。



平素より全国の漁業者ならびに
関係各位の皆様には、漁船海難遺
児育英事業に対し格別のご理解と
ご支援を賜り、心より御礼申し上
げます。

に向け、自らの使命と役割を再認識し、直面する諸課題に全力で取

り組んでいるところであります。

そんな中、「未来を生きる子どもたち」の存在は、私たちの支援の輪をさらに広げ、共に明るい未来を築いていくための大きな原動力となっております。

することなく、安心して学業に励むことができる環境づくりに寄与しております。

JFグループの会員組織である漁船海難遺児を励ます全国協議会は、今後も漁船海難遺児育英会と緊密に連携し、不断に精進を重ねてまいる所存でございますので、変わらぬご協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、水産業と地域社会がより豊かに発展する一年となりますことを心より願ひ、新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうござ
います。皆さまには健やかに新年
を迎えられたこととお慶び申し上
げます。

皆さまには、日頃から漁船海難
遺児育英会事業に対しまして温か
いご支援をいただいておりますこ
と心から感謝申し上げます。

いん）の時代に時間や方向を表す記号のようなものとして生まれ、そのこととす。

この十二支、ご存じの通り、「子（ね）・丑（うし）・寅（とら）・卯（う）・辰（たつ）・巳（み）・午（ひまわり）・未（うしほ）・申（さる）・酉（とり）・戌（いぬ）・亥（ぶた）」の十二種類の動物、中には辰（たつ）のように想像上の動物もいます。それ以外は馴染みのある動物

ところが、その杖が木に引つか
かつてしまい、それを見てネズミ
が何とかこれをお釈迦様に届けよ
うと苦心していたところに猫がや
つてきて邪魔をしたため、お釈迦
様の復活が叶わなかったのに猫の
十二支入りなんてそもそもとんで
もないという話。

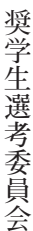
く国際情勢の緊迫化に伴う燃油・資材価格の高止まり、世界的な氣候変動の進行により海洋環境の不安定性が増すなど、漁業・水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況でありました。

そのような状況下にあつても、

漁船海難遭児育英事業においては、全国の皆様から寄せられた温かいご寄附により、遭児の教育を支える活動が力強く継続されています。ご支援を賜っている皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

JFグループでは、国民に対する水産物の安定供給という使命を果たすため、持続可能な漁業の実現

皆様のお力添えが、将来を担う子どもたちの希望につながっており、学ぶ意欲を抱く奨学生が躊躇



委員長 富岡 啓二

新年明けましておめでとうござ
います。皆さまには健やかに新年
を迎えられたこととお慶び申し上
げます。

いん）の時代に時間や方向を表す記号のようなものとして生まれ、このこととす。

皆さまには、日頃から漁船海難遺児育英会事業に対しまして温かいご支援をいただいておりますこと心から感謝申し上げます。

ね・丑(うし)・寅(とら)……」
 と12種類の動物、中には辰(たつ)
 のように想像上の動物もいます
 が、それ以外は馴染みのある動物

さて、正月といえば干支が話題になります。2026年の干支は「丙馬（ひのえ・うま）」、力強く情熱的なエネルギーに満ちた、新しい始まりにふさわしい年と言われています。

と、犬と並んで世界中で愛玩されているペットの二大巨塔、今や日本中でもっとも多くの世帯で飼育されるようになった動物、それが並んでいます。

この千支・十二支は紀元前1600年頃から紀元前1046年まで続き考古学的に実在が確認されている中国最古の王朝である殷

猫が十二支に名前を連ねていま
さん。
猫が十二支にいない理由として
一つの説があるそうです。

とから、十二支発祥に際しても、あくまで当時の中国でメジャーな動物を12種類選んだだけであり、猫は選考の余地すら無かったのではないかと話。

十二支発祥地である中国とは別の動物を用いた干支を利用している国もアジアの各地にあるとのこと、チベットやベトナムには猫を取り込んだ十二支もあるらしいです。

先の二つの説はお伽話のようなもので何やらその光景が想像できそうで楽しい、一方で三つ目の説は歴史的、地理的背景を踏まえた説なのでなるほどね、と捉えています。

みなさんはどの説がし好に合っ

2025 ふれあい旅行

前号では参加した子どもたちの感想を紹介しました。今号では保護者の感想と、今回の旅行より始めました「お茶会」の声を紹介します。

保護者から



「ふれあい旅行」

兵庫県 T・M (中1・母)
3回目の参加です。一年ぶりに会う子供達が大きく成長していて驚きました。うちの息子も急に背が伸びて驚かれました(笑)

今回は同じ兵庫県から初参加されている方と出合えて話せて良かったです。

息子は楽しみにしていた国会に行けたのが嬉しかったようで今でも国会の話でテンション高く話しています。2日目のディズニールンドは行ったら楽しかったようでもた行きたいと言っています。

育英会の皆様、ワンパク大学の皆様、参加の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございます。

来年も参加したいです。

「ふれあい旅行」

ていますか？

最近は効率性とか生産性とかを重要視するあまり人の心にゆとりとか遊びが少なくなってきたと感じています。

今回は自他ともに認める猫好きの私の雑学を披露させていただきましたが、皆さまもご自身の趣味とかし好といった世界を是非大切にしたいだより楽しく明るく元気に過ごして頂きたいと思っています。

最後に、新しい年が奨学生の皆さん、ご家族の皆さまにとつて実り多き年となりますことを祈念申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

北海道(大3、中3・母)

初めて、ふれあい旅行に参加しました。

事故から数年は参加すること辛い事をまた思い出すと思い、参加に前向きになれませんでした。また、自分の子供達が海難遺児と言われることにも辛く思う時もありました。

数年前、母が代わりに子供達を連れて参加してくれた事があり、なかなか自分達では行けないような所に子供達を連れて行くことができて良かった！と感謝していました。

自分の気持ちに参加してみたいと思う頃には子供は進学や部活で忙しく、タイミングを逃してしまいました。

今年、長男が二十歳になり東京旅行を計画していたところ、ふれあい旅行の話があり、3人で参加しよう！と、とても楽しみにしていました。今回の旅行は一泊2日という日程と家族同室でホテルに泊まれるというのが私達家族にはよかったです。

一日目、北海道から参加の私達にはハードスケジュールでした

が、国会議事堂見学は、大学生と中学生の子供達はとても大満足、お土産の石破さんクッキーも思い出になりました。ホテルではビュッフェがとても美味しくてまた行きたいと言っています。

ホテルでのお茶会や、夕食会では他の方の話を聞いて悲しくなる事もありましたが、皆さんが励まして、泣いたり笑ったりと、あつという間に1日は終わってしまいました。

二日目はディズニールンドで遊ばせてもらいました。10年前、1人では何にもできない幼い子供2人を連れてクタクタになった事を思い出します。10年経ち、私がいなくてもアトラクションや買い物を楽しむ姿をみて、子供の成長を嬉しく思いました。その時に宿泊したのも今回と同じホテルで懐かしい気持ちになりました。離れて暮らす息子とともに楽しい時間を過ごせてよかったです。

今回、この旅行を通して改めてたくさんの方に支えられていると実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。この旅行を計画してくださった方々、ワンパク大学の皆様ありがとうございました。

娘とまた来年も参加したいね！と話しています。また皆さんに会えるのを楽しみにしています。

「初めてのふれあい旅行」

兵庫 森 恵(大2・母)

今回初めて、大学2年生の娘と一緒に参加しました。はじめは、初対面の方の中で、うまくやっていけるかどうか不安でしたが、以前から参加されている方々が仲良くお話されている雰囲気心が和み、親同士の交流会も楽しく過ごすることができました。同じ立場だからこそ話が聞けたことが、一番嬉しかったです。

夜の食事、同じテーブルの方とお話でき、朝のバイキングやディズニールンドでも、声をかけあいました。ほんの少しの時間でしたが、いい出会いに感謝しています。

ふれあい旅行のおかげで、思い出

のディズニールンドへ、もう一度行け、またひとつ娘との思い出が増えました。参加して、本当によかったです。ありがとうございます。

「ふれあい旅行」

(小6、叔母)

この度は、参加させて頂きました。ありがとうございます。

育英会事務局の方々には、甥が、たいへんお世話になっており直接お会いして感謝をお伝えしたく参加しました。

今後、お顔を思い浮かべながらの対応が出来るので身近に感じられ嬉しく思っています。

甥が育英会様のお世話になっていなければ、正直このような機会にも恵まれず、このような素敵な「つながり」も体験せず過ごしたでしょう。

甥は、この旅行を楽しみにしていました。ふだん同じ境遇の子と接する事もなく、私自身も、全部を理解する事は出来ません。なので、自分と同じ経験をされた日本中のお友達に会い、一緒の時間を過ごしたいと思っていたのだと思います。

皆、優しいし、自分と同じパパがいないから、なんとなく違う。安心できた。と話していました。そんな「友達がいる」が、今後、甥の心の支えとなってくればと願っています。

育英会の皆様。ワンパク大学の皆様、参加者の皆様、大変お世話になりました。

また、お会いできる日を楽しみにしております。

最後にこのような機会を頂ける基となっている子供達を支えてくださっている全ての方々に心より感謝申し上げます。

「ふれあい旅行」

T・M(高1、3・母)

2年ぶりにふれあい旅行に参加させて頂きました。年頃の息子達がついて来てくれるか不安でしたが何とか連れ出す事もでき、短い時間でしたがお母さん達とも濃い時間を過ごす事ができました。

同じ境遇の方達と話す時間は貴重で母達の心のケアにもなっているなと思いました。大きくなった子供達とのコミュニケーションの機会も与えてくださりありがとうございました。

深まったと感じています。育英会の皆様、ワンパク大学の皆様ありがとうございました。次回も参加させて頂きたいです。

「ふれあい旅行」

沖縄県 M・A

今回2回目のふれあい旅行に参加させて頂きました。

1回目でお友達になった方と会うのと、今回初めて参加されるたくさんの方々に会えるのを親子共々すごく楽しみにしていました。

最初はやはり娘は緊張していましたが、わんぱく大学の方やお友達顔をみるとホッとすると同時にとても嬉しそうな顔をしていました。

昨年は娘の学校の都合で参加ができなかったため、1回目では無かった保護者だけのお茶会があったり、そこで他の家族の悲しみや不安、どうやって乗り越えていったかなどたくさん聞くことができた。この会を通して、同じ境遇の仲間が全国にいると思うと心強く感じ、心が穏やかになりました。

また、事務局の方々ともお話しすることができ、いろんな要望を聞いてもらえて、本当に有意義なお茶会でした。できれば次回はおもつともつとお話しする時間があればいいと思います。

2日目のディズニールンドは、お友達と一緒に回ることができ、楽しさと倍増で娘もすごく楽しんでいました。

ふれあい旅行での体験・出会いは、私達親子にとって本当にいい経験で、すてきな出会いのきっかけになっています。

娘の学生状況であと2回しか参加できませんが、この出会いがきっかけで皆さんともつともつと個人的に交流できたらいいと思っています。

海難遺児の事務局の方々、わん

ぱく大学のみなさん、毎年楽しいふれあい旅行をありがとうございます。また来年もよろしく願います。

「初めてのふれあい旅行を通じて」

石川(幼5・母) S・A

四年前に夫を海難事故で失い、当時一才半の娘を抱えていた私は、なかなか現実を受け入れられずにいました。家族や友人に支えてもらい、毎日を必死に生きていく中で、「同じ様な境遇の方と話してみたい。乗り越え方や、子供への伝え方を教えてほしい。」と、ず

っと思っていました。そんな中で、海難遺児育英会という公益財団法人があることを知りました。私の身近には居なくとも、日本全国には同じ様に事故で旦那様を失い、それでも頑張って生きているご家族がたくさん居ることを知り、会って話せる機会はここだと強く感じました。

しかし、去年は、親子別室での宿泊が難しく参加できませんでした。今年のアンケートに親子同室での宿泊をお願いしたところ、その様になったことから、ずっと求めていた場への参加を実現することが出来ました。ふれあい旅行で初めて、育英会の方々と、同じ境遇にあるご家族の方々とお会いできて、とても嬉しかったです。様々な会話の中、受け入れてくれるはずなのに、夫のことを話す時に涙が出て、そんな自分に少し驚きました。

泣いてくれたり、強くなさず共感してくれました。事故当時から今日に至るまでの感覚や思いが同じ人と分かり合えることが初めてで、とても心強くなりました。私より長い年数が経っている方の想いを知れたことで、新たに前向きな気持ちになりました。そして、私と同じ様な気持ちの人には私なりに伝えていきたいと思いま

した。何かのご縁で出会えた方々、今後もつながり続けていけたら嬉しいです。本当に参加させていただき、心から感謝いたしております。ありがとうございます。

ま

た元氣にお会いできる日を楽しみにしています。笑顔〜!!

「ふれあい旅行」

香川 (高2・母) I・T
今年も昨年に引き続きふれあい旅行に参加させていただきます。

一泊二日と短い間でしたが、初参加の方も多く、いろいろとお話できて楽しかったです。個人的には、もう少し長く時間があればよかったかなとも思いました。

今年も、ふれあい旅行を開催していただき育英会や地協協の方々、ワンパク大学の皆様ありがとうございました。

来年もぜひ参加したいです。

「ふれあい旅行」

福岡 道脇 良子 (専3・母)
11回目の参加をさせていただきました。残念な事に今回で最後の参加でした。長い間本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいでした。初めての参加は次女が小4の時。家族で旅行なんてとても行けない家計でしたので、とてもありがたい企画でした。

そして毎回の楽しみは保護者の方との交流でした。子供たちの世話はんぱく大学の方がしてくださるので、たくさん色んな話ができたのです。今回の旅行ではその時間は少ししかなく、少し残念でしたが、次回からは保護者の方とも、子供たちもたくさん話をし、他では過ごせないような貴重な時間を作ってほしいです。そしてこれからこのふれあい旅行がずっと続いていつてほしいと心から願っています。

「無題」

熊本 O・C
(高3、高2、中2、中1・母)
一泊二日、お世話になりました。今年も、十六組のご家族が参加されて、私が参加した中では過去最多数だったと思います。

下は五歳のお子さんからは小学三年生まで幅広い年齢層で、ホント賑やかで楽しかったです。今回は、一泊二日の旅行だったのでもう少しお母様達とゆっくりお話

しできる時間があつたらよかったなと思います。

また、来年も行けたら参加したいと思います。有難うございました。

「ふれあい旅行」

(高1・母)

前回は遅れないようにと空港に1時間以上早くに着いてしまつて結構待つ事になったので、今回は次の時間のバスで空港に行きました。待った時間は数分でした。駅から空港に向かうバスの中で面白い事があつて空港着いてから一緒に話して楽しかったね。東京に着くまで、本読んだり景色みたり寝てました。到着時間は過ぎてから到着でした。今回も集合場所に間に合わない。改札口から集合場所行くまでもかかってしまいました。国会議事堂見学、あまり詳しい事はわかりませんが、親の影響もあつて色々な建物みるのが好きで、国会議事堂の中を見学出来た事良かったです。ホテルでスタッフさん、保護者の方の話を色々聞けて良かったです。夕食も美味しかったです。外の景色も綺麗でした。部屋で明日の話してるうちに23時近くになり、私はなかなか寝れなかったけど、息子はぐっすり寝てました。朝起きるのも早かったです。朝食も美味しかったです。舞浜プリム美味しかったです。前回はディズニールランドだったので、今回、ディズニールシーにしました。暑さの中の行列は大変でしたが、一緒にみれて良かったです。S・Sコロンビア号、私が学生の時に写真だけしか撮らなかつたので、今回は中もみて写真も沢山撮れたので良かったです。ディズニールシーを出た後はちょっと嫌な思いさせてしまったけど、帰りに食べたお昼御飯、前回は食べられなかつたので、今回食べる事が出来て嬉しかったです。そして美味しかったです。帰りの飛行機で息子は音楽聴きながらずっと寝てました。結構歩いたから疲れたかな？夏休み中、学校の課題だったり色々やらなきゃならない事があつ

「ふれあい旅行」

宮城 (小4・母) O・A

今回初めてふれあい旅行に参加させて頂きました。八年間、このような旅行があることは知っていましたが勇気が出ませんでした。今回参加してみて、子供も私も楽しむことが出来たので良かったです。

国会議事堂もディズニールランドも、普段なかなか行く事がない所なので、とても貴重な経験になりました。

「ふれあい旅行に参加して」

青森県 (中3、高2・母) S・Y

今回が初めての参加でした。参加するかどうかギリギリまで迷いましたが、同じ経験や思い出をして方々と話をする事ができたら、誰にも相談することもできず、どうしていいかわからなかつた私にとつて、このふれあい旅行は、元氣と勇気をもたらえる場となり、真つ暗だった目の前に少しだけ光が差した気持ちになりました。今回の参加で、声をかけてくれた方々、話を聞いてくれた一緒に涙を流してくれた方々、本当に感謝しています。一人じゃない、と強く感じました。あの時参加を辞退しなくてよかったと。ふれあい旅行に参加させていただきありがとうございます。育英会、関係者の方々にも感謝しています。来年も参加することができたら、またみなさんにお会いしたいです。

地方協議会担当者から



宮城県漁業協同組合
指導部 指導課 平塚愛菜
今回初めてふれあい旅行に地方

事務局として参加させて頂きました。これまでは漁船海難遺児育英会の担当者さんはじめ、奨学生・保護者の皆様とはお会いする機会がありませんでしたので、これまで事務的に電話のみの対応でした。今回このような機会をいただき直接顔を合わせてお話しすることができ事務局としてとてもよかったです。

また、各県の地方事務局さんとも交流でき情報共有の場としても勉強になりました。

奨学生の皆さんが年齢問わず仲良く接しているのがとても印象的で、保護者の皆様も県間問わず気さくにお話しし交流を深めており、年に一度の旅行を楽しみにしているのが伝わりました。

宮城県事務局としてもこれまで通り募金やクリスマスプレゼントを継続し、漁船海難遺児育英会からの情報を伝える役目としてこれからも力になれたらなと思います。

最後に今回このような機会を作つて下さった漁船海難遺児育英会の皆様大変ありがとうございました。私にとつてもとても思い出に残る旅行となりました。また来年もお声がけいただけるといいのであれば、奨学生の皆さん、そして各県の事務局さんとお会いしたいなと思います。

「ふれあい旅行」に参加して

熊本県漁協協同組合連合会

指導部 指導課 白石 希

これまでは育英会事業を活用されている方々と直接お会いする機会もなく書類のやりとりのみだったので、今回、初めて「ふれあい旅行」への参加を地協協へお声掛けいただき、せっかくの機会なので参加させていただきます。

長年開催されていることもあり、参加者同士はもうろんのこと、育英会事務局の方やワンパク大学の方とも皆さん仲が良く、この旅行を楽しみにされているのが伝わってきました。また、保護者のお茶会(情報交換会)に同席いただきましたが、同じ境遇だからこそご

自身の経験や不安に思われていることなどを話され、保護者にとつては楽しいだけじゃない貴重な時間であることを感じました。

地協協としても今まで電話でお話する機会がなかつた事務局の方や他県の地協協の方とも情報交換ができ、全体を通して漁船海難遺児育英会事業への理解を深めることが出来たと思います。

この度は、このような貴重な機会をいただき、ありがとうございます。

ふれあい旅行

保護者「お茶会(情報交換会)」

1. 育英会事業について

・そもそもこの会の意味が分からなかつた。また、自分の境遇をなぜ知っているのか？

・どのような団体がどのようなつながつてこの旅行が成り立っているなど全くわかっていなかった。(所属組合とかかわり等)学費のサポートは、大変ありがたかつた。

2. 企画について

(1) 今後の希望

・今まで沢山の親子が参加をしてきたと思うが、どこかのタイミングで同窓会みたいな事をやってほしい。

・ふれあい旅行を通して、同じ境遇のご家族と会える機会があつた。参加をしてくれた子供達の成長が見たい。

・親の思いと子供の思いは、もしかしら違ふかもしれない。子供の本当の思いを聞いてみたい。(周りの友達とは違う環境をどう思っていたのか？親として役目を果たせたのか？)

・親子一緒に別々での宿泊かチョイスできるとよい

・1日目は親子で、2日目は親子バラバラの宿泊がよいのでは

・親だけで話す時間がもっとほしい旅行中、子どものお風呂や食事など全て面倒みてもらえるのが助かる
・中学生になると部活など忙しく

なるので旅行に参加できるのは今のうちだけかもしれない
・男の子は大きくなると気恥ずかしさがでて参加したがいらないので、親だけでも参加できるようにしてほしい
・土日をはさんでほしい / 平日ならいつでも可
・ディズニールの翌日も泊まれると良い(東京にはなかなか来れないので、せっかく来たからには閉園まで遊びたい)

・大きな子たちにはユニバーサルスタジオジャパンの方が人気(ディズニールはあきた)

・子どもがもっと体を動かせるようなものをしたかったと言っていた

(2) 保護者会の時間

・子供とは別の時間を設けて頂き、同じ境遇のお母さん達とたくさんお話をしたい。

・親だけの時間は、参加者みんなで今の自分の抱えている問題を共有したり、先輩お母さんからのアドバイスが聞ける貴重な時間となるので、出来る限り時間を作ってほしい。

・もっと同じ境遇の人とふれあう時間を作ってほしい。

・同じ境遇のコミュニケーションがない。

(3) 旅行全体について
・今回のふれあい旅行は時間が過密すぎた。

・子供同士で仲良くなつてくれていることがありがたい。

・年齢が上の子が下の子の面倒を見てくれていことに感謝。

・幼子がいる場合は、親子別の部屋で宿泊することが困難。

・宿泊は家族単位にしてもらえると初めての参加でも精神的負担(人見知りの子供が不安にならな)が軽減されると思う。



- ・自分では行けないところへ行けるのがある。
- ・開催時期をもう少し配慮してほしい。
- ・結団式リモートで開催でも良いのでは。
- ・関東近郊だけでなく、関西のあたりと行きたい。
- ・ディズニーと交通費全額無料が魅力的だった(初参加)
- ・元は長崎の島の方に住んでいたが、交通が不便であきらめていたが、子どもの高校進学をきっかけに福岡へ越してきたことで参加しやすくなった(初参加)
- ・これまでの「親と子が別々に宿泊」はかなりハードルが高かった(初参加)
- ・もっと小さい子ばかりかと思っていたが、意外に大きい子が多く、想像していた感じと違った(初参加)
- ・1年に1度の開催なのに、お母さん同士の仲がものすごくよくてびっくりした(初参加・地方担当者)
- 3. 海難事故後の問題**
 - ・父親が海難事故で遺体が上がらない場合など幼い子供にどう伝えていいかわからない。
 - ・父親が死んでしまった事を子どもに知られたくない。
 - ・海難事故後、妻として何をすべきかわからなかった。
 - ・事故後、所属団体ともめた。
 - ・事故後、夫の遺体が見つからず誰も何も教えてくれない、自分で弁護士を探し、様々なことを自分一人で行う事となった。
 - ・海難事故を取り扱う弁護士が見つからず、大変な思いをしたので、サポート窓口のようなものがあると良いと思う。
 - ・漁の最盛期に息子の海難事故が起こった。息子の遺体を探すため、地域の人々が10日間以上も漁を休んで捜索作業をしてくれた。稼ぎ時の大切な時期に本当に申し訳ない気持ちでいっぱいであった。また、その行為に対して金銭的なお礼が出来るほど経済的な余裕もなく、地域に暮
- ・先日の水害でふさがれてしまった道路があり、通学時、遠回りをする必要がなくなった。学校からバスが出るかどうかもわからない。
- ・保護者の皆さま、ご意見・ご感想をありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。次回のふれあい旅行もたくさんのご参加をお待ちしております。(事務局)
- ・父が突然亡くなり、その影響で母親が病気になる、子供(孫)は祖父母の元でしばらく生活することとなり、お互いが大変な時期があった。また、孫が少し大きくなってから母親の元で生活をしたが、良い親子関係が築けず、子供にとつて大変苦労を強い生活環境となつてしまった経験がある(参加者・祖母)。
- 4. 育英会の支援等について**
 - ・物価が上がっているので月額をもう少し上げてもらえると助かる
 - ・2ヶ月ごとに支給してほしい
 - ・将来を考え給与金は貯蓄にまわしている
 - ・給与金をいただいている身なので現状の金額に不満はないが、もっといただけるなら助かる
 - ・在学証明書の締切日が4月10日はきつい、郵送に時間がかかるので提出期限にゆとりがほしい
 - ・期限が短いので所属奨学生に案内するのが心苦しい(地方担当者)
 - ・「漁船海難遺児育英会」という団体名がづらい学校等には説明しやすい(すぐに理解してもらえる)
- 5. その他**
 - ・令和の米騒動については、お米を1年分まとめて購入しているので特段影響はなかったが、来年はわからない
 - ・子どもが小学生なので、今まだなんとかやりくりできているが、自分が退職の年齢に近づいていることもあり、中学・高校と進んだときに制服代など、どのくらい費用がかかるようになるのか不安
 - ・制服代、部活動関連の費用(ユニフォーム・道具類)、定期代が高い

第33回漁船海難遺児育英会
チャリティーゴルフ大会

9月26日(金)、PGMゴルフリゾート沖縄(沖縄県国頭郡恩納村)において「第33回漁船海難遺児育英会チャリティーゴルフ大会」(主催・漁船海難遺児育英会資金造成チャリティーゴルフ大会実行委員会)が開催されました。

本大会は、海難等の事故により尊い命を失った漁業者の子供が、将来社会に貢献できる人材に成長してくれることを願い、本会の育英事業を支援する全国的な資金造成活動の一環および、県内の遺児に対する財政的支援を目的として、沖縄県漁協参事会を中心に、県内各漁協および水産諸団体の協力のもと、毎年継続して開催されております。

当日は約75組287名が参加され、早朝より爽やかな秋空の下でプレーを楽しみました。プレー後に行われた表彰式では、上原大会会長(JF沖縄漁連会長)より目録が贈呈され、本会の高橋主査が専務理事の挨拶を代読し、「皆さま方のご趣旨に添い、海難遺児の育英事業のために活用させていただきます」と謝辞を述べました。

大会の開催にあたり「尽力いただいた関係者の皆さま、ならびにご参加・ご協力いただきました皆さまに心より御礼申し上げます。」



表彰式にて、上原会長(右)

福岡市鮮魚仲卸協同組合
よりご寄附

12月4日(木)福岡市鮮魚市場会場において、福岡市鮮魚仲卸協同組合(理事長・西尾健一)様よりご寄附を頂きました。

福岡市鮮魚仲卸協同組合は鮮魚市場で働く地元仲卸の組合で、2001年から毎年寄附活動を行って来られており、今回で25回目となります。

寄附金を贈るにあたり、西尾理事長は「生産者への敬意と支援の思いで寄附を継続している。仲卸は魚価形成を担う立場として、生産者と消費者の双方が成り立つよう責任を持って取り組んでいく。」

第74回全国漁港漁場大会

10月15日(水)、海峡メッセ下関(山口県下関市)において、全国の漁業者及び自治体関係者など約1,350人が集結し、「第74回全国漁港漁場大会」(主催・公益社団法人全国漁港漁場協会、田中郁也会長)が開催されました。

田中会長は、「本大会は3年ぶりの地方開催となった。本大会では漁業現場の声を国会、政府などに届けるという歴史を刻んできた。今回も課題や進めていくべき政策などを議論し、内容を提言として取りまとめ。漁港・漁場・漁村・海岸整備等のため関連予算が必要。」と訴え、団結を呼びかけました。



第74回全国漁港漁場大会の会場内での様子。

鳥羽一郎漁港コンサート
(宮城県・宮城郡七ヶ浜町)

11月9日(日)、宮城県七ヶ浜町花洲浜多目的広場にて「第94回漁船海難遺児チャリティー鳥羽一郎漁港(みなとまち)コンサート」(主催・宮城県漁業協同組合七ヶ浜支所・後援・JF共水連、他)が開催されました。

七ヶ浜町での漁港コンサートは、36年ぶり2回目の開催。当日少し寒かったが、鳥羽さんの登場を心待ちにしているお客さんで、会場は立ち見が出るほどいっぱい埋め尽くされました。まずは、JFみやぎ・七ヶ浜支所の寺沢運営委員長が「漁業は自然と向き合う厳しい仕事。事故防止に最大限の努力を払っても、全国では海難事故で尊い命が失われている。未来を担う子どもたちが、希望を持って成長できるよう皆さまからの温かいご支援をお願いしたい」と挨拶し、コンサートがスタート。

鳥羽さんがお決まりのジーンズに長靴、青いねじり鉢巻きという姿で登場すると、会場は一気に盛り上がり、漁港コンサートのテ



▲西尾理事長(右から3人目)が笠崎次長(同4人目)に寄附金を手渡されました

と述べられました。

漁船海難遺児育英会を代表し、福岡県漁業協同組合連合会の笠崎美名子総務部次長が毎年の多額の支援に謝辞を述べ、その後出席者全員で記念撮影を行いました。



ミニ競りのお手伝いをする鳥羽さんと竜徹日記



マ曲「海の祈り」を含む7曲を熱唱。また、コンサートの中盤では、竜徹日記が登場し3曲披露。最後、親子3人で「兄弟船」を歌う時に、鳥羽さんに花束を渡した鳥羽さんのファンという小学生の琉空(りく)くんも一緒に歌うというサプライズもあり、最高に盛り上がり終了した。

JF共水連 高田専務は閉会挨拶で、「鳥羽さんの漁港コンサートは94回を迎え、1億円以上の募金が集まった。海難遺児の生活を支えることで、海難遺児の皆さんがまた漁師になって行く。ぜひ、日本の漁業を守ってください。募金よろしく願います。」と呼び掛けた。

終演後に行われたミニ競りでは、JFみやぎ七ヶ浜支所よりヒラメや鯛などが出品され、鳥羽さん・竜徹日記がお手伝い。鳥羽さんから「太刀魚は、塩焼きとか唐揚げでも美味しいよ!」と、食べ方のアドバイスもあり、参加者から次々と手が挙がる場面も見られた。会場内での募金だけでなく、ミニ競りの売り上げ金額も全て海難遺児へ寄付されました。

2025年度 第11回 Fish・1グランプリ

11月30日(日)、日比谷公園に
れのき広場(東京都千代田区)に
おいて第11回Fish・1グラン
プリ(主催:国産水産物流通促進
センター・構成員 全国漁業協同組合
連合会・以下全漁連)が開催され
ました。

当日は天候にも恵まれ、全国各
地から応募のあった団体の中から
選ばれた8団体が出場。各地の漁
協や会社が腕によりをかけ、国産
水産物を使った自慢の一品をキッ
チンワゴンで調理・提供しました。
会場には朝から多くの来場者が訪
れ、各ブース前には長い列ができ
るほどの盛況となりました。試食・
投票が行われている間には、さか
なクンによるステージイベントも
開催され、来場者に向けて魚の魅
力や海の豊かさを楽しく紹介。会
場全体が明るい雰囲気になされて
いた。

投票と審査の結果、グランプリ



▲「漁師が丸ごと包んだ!海のごちそうタコス」(写真上)、「白寿真鯛0(ゼロ)〜未来へつなぐ、まるごと3色丼」(写真下)(写真提供:JF全漁連)

に輝いたのは、JFみやぎ/戸倉
Sea Boys「漁師が丸ごと包
んだ!海のごちそうタコス」が輝
きました。続く準グランプリには、
中島水産(株)「白寿真鯛0(ゼロ)
〜未来へつなぐ、まるごと3色丼」
が選ばれました。

本会では、会場内で風船とチラ
シを配布し「水色の羽根募金」へ
の理解と協力を呼びかけました。
多くの皆さまより温かいご支援を
いただき、心より感謝申し上げます。

豊洲報徳会寄附贈呈式



12月20
日(土)、
豊洲市場
内・第一
水産会議
室におい
て、東京
中央卸売
市場豊洲
市場福祉
報徳会(会
長・田口
耕平 第
一水産社
長)よりご寄附を賜り、2025
年度寄附金贈呈式が執り行われま
した。

豊洲報徳会は昭和49年に設立さ
れ、市場で働く方々が会員となり、
長年にわたりさまざまな団体への
寄附活動が続けている民間の慈善
団体です。

贈呈式では、田口会長より「少
しでも皆さまに寄り添い、支援で
きるよう精力的に活動したい」と
のご挨拶がありました。続いて、
目録の贈呈を受けた3団体(日本
赤十字社東京都支部・江東区社会
福祉協議会・漁船海難遺児育英会)を
代表し、日本赤十字社東京都支
部の新井雅人振興部長が謝辞を述
べられました。
式典終了後には、出席者全員で
記念撮影を行い、和やかな雰囲気
の中で閉会となりました。

全国豊かな海づくり大会

11月9日(日)「受け継ごう
命あふれる 清い海」をテーマに
第44回全国豊かな海づくり大会が
天皇・皇后両陛下のご臨席のもと、
三重県志摩市および南伊勢町で開
催されました。同県での開催は、
1984年に浜島町(現・志摩市
浜島町)で行われた第4回大会以
来、41年ぶり2回目となります。

月14、15日の両日に大阪府にて初
めて開催する予定です(式典行事
は岸和田市、海上歓迎・放流行事
は泉佐野市)。詳しい情報は「第
45回全国豊かな海づくり大会」
魚庭の海おさか大会」
<https://yutakana-umidukuri-pref-osaka.jp>
をご覧ください。

式典において天皇陛下は
「豊かな海は環境を保全す
るとともに、水産資源を適
切に保護・管理し、次の世
代に引き継いでいくこと
は、私たちに課せられた大
切な使命」とお言葉を述べ
られました。

式典終了後、南伊勢町・
宿田曾漁港で行われた放流
行事では、両陛下がイセエ
ビとマダイの種苗を放流さ
れました。

本会においては、式典行
事会場にて鵜方少年消防
クラブの皆さんにご協力
をしていただき、会場入り
口付近にて募金活動を行
いました。また、関連行事
「豊かな海づくりフェスタ
2025(志摩市ともやま
公園)」では、冷たい雨の中、
三重県農林水産部の皆さん
のご協力を得て来場者へ募
金呼び掛けました。なお、
イベントステージを終えた
さかなクンよりぎよせん円
(5千円)のご寄附をいた
だき活動協力者の皆さんと
記念撮影をさせていただき
ました。
ご支援をお寄せくださっ
た皆さま、大会主催者はじ
め募金活動にご協力いた
だいた皆さまに心より感謝申
し上げます。
なお、次回大会は来年11



▲お言葉を述べる天皇陛下(代表撮影)



▲放流される天皇、皇后両陛下(代表撮影)

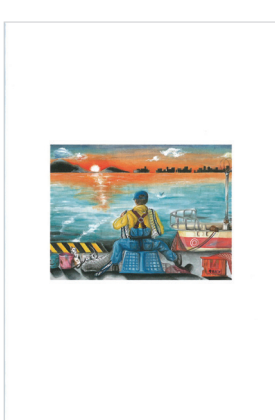
育英会設立55周年記念 ―漁船海難遺児と母の文集第11集―

『ぼくたちにはみせない なみだ』 発刊のお知らせ

本会では、1975年より設立
5年ごとの節目に、ご遺族の皆さ
まから寄せられた作文・詩・イラ
スト等をまとめた「海難遺児と母
の文集」を刊行してまいりました。
このたび、設立55周年を記念し、
第11集となる『ぼくたちにはみせ
ない なみだ』を発行いたしました。
た。本書には、在学および卒業奨
学生76名、保護者6名による計82
作品を収録しています。

書名となった作品は、小学6年
生の奨学生によるもので、母親の
深い愛情と亡き父への想いが綴ら
れています。子どもの前では涙を
見せず、強く生きようとする母
親。その姿を見つめる子どものま
つぐな気持ちが胸を打つ作品で
す。文集にはそのほか、突然愛す
る家族を失いながらも、悲しみと
不安を抱えつつ幼い子どもを守り
育ててきた母親の心情、また、わ
ずかな記憶の中に残る父との思い
出を胸に、明日へ向かって歩む子
どもたちの姿が率直に綴られてい
ます。

今回よりイラストをカラー化
し、作品の魅力をより鮮明にお伝
えできるようにしました。多く
の皆さまにご一読いただき、遺族
の方々が抱えてこられた苦しみや
悲しみに思いを寄せていただけれ
ば幸いです。



定価: 1,200円(税別)



ご寄附のお礼

2025年9月から11月までにご寄附を頂いた皆さまのご芳名（敬称略）を掲げ、厚くお礼申し上げます。

励ましおじさん・おばさん

〔9月〕◎北海道▽本間雅彦◎青森県▽野呂英樹◎岩手県▽若狭みか子◎山形県▽佐藤明美◎茨城県▽伊集院兼丸▽高瀬美和子◎埼玉県▽小林哲朗▽西田耕太郎▽深瀬茂哉◎千葉県▽石山新悟▽岩下巧▽内田珠一▽大類裕久▽新塘博文▽杉田成▽檜垣浩輔▽若林満◎東京都▽上野新治▽岡部典子▽梶山千草▽勝野輝美▽河南健▽木村吉男▽梶洗洋▽高田明生▽戸田満弘▽株日本バリアフリー▽長谷成人▽平島淑光▽廣野淳▽水田正和▽森健▽山下恭助◎神奈川県▽石川治▽石川和彦▽越智豊子▽黒萩真悟▽樋口知路▽三木奈都子▽森本哲也▽山本道郎◎京都府▽北村卓大◎大阪府▽道本孝治◎兵庫県▽三木周子◎山口県▽熊谷佐枝子◎佐賀県▽久米正剛◎長崎県▽川端京子

〔10月〕◎北海道▽本間雅彦◎青森県▽野呂英樹◎岩手県▽若狭みか子◎山形県▽佐藤明美◎茨城県▽伊集院兼丸▽高瀬美和子◎埼玉県▽小林哲朗▽西田耕太郎▽深瀬茂哉▽松本安裕◎千葉県▽石山新悟▽岩下巧▽内田珠一▽大類裕久▽新塘博文▽杉田成▽檜垣浩輔▽若林満◎東京都▽上野新治▽岡部典子▽梶山千草▽勝野輝美▽河南健▽木村吉男▽梶洗洋▽高田明生▽戸田満弘▽株日本バリアフリー▽平島淑光▽廣野淳▽本川一善▽水田正和▽森健▽山下恭助◎神奈川県▽石川治▽石川和彦▽越智豊子▽黒萩真悟▽樋口知路▽三木奈都子▽森本哲也▽山本道郎◎京都府▽北村卓大◎兵庫県▽三木周子◎山口県▽熊谷佐枝子◎佐賀県▽久米正剛◎長崎県▽川端京子

か子◎山形県▽佐藤明美◎茨城県▽伊集院兼丸▽高瀬美和子◎埼玉県▽小林哲朗▽西田耕太郎▽深瀬茂哉◎千葉県▽石山新悟▽岩下巧▽内田珠一▽大類裕久▽新塘博文▽杉田成▽田中郁也▽檜垣浩輔▽若林満◎東京都▽上野新治▽岡部典子▽梶山千草▽勝野輝美▽河南健▽木村吉男▽梶洗洋▽高田明生▽戸田満弘▽株日本バリアフリー▽平島淑光▽廣野淳▽本川一善▽水田正和▽森健▽山下恭助◎神奈川県▽石川治▽石川和彦▽越智豊子▽黒萩真悟▽樋口知路▽三木奈都子▽森本哲也▽山崎いづみ▽山本道郎◎京都府▽北村卓大◎兵庫県▽三木周子◎山口県▽熊谷佐枝子◎佐賀県▽久米正剛◎長崎県▽川端京子▽寺島和子

水色の羽根募金

1、漁協系統募金（各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会（略称・地励協）」等で取り扱った分、一般寄附を含みます。）

〔9月〕◎青森県▽JF泊▽匿名◎富山県▽JFくろべー▽自販機売上一部（株）ワンハート経由◎静岡県▽由比港漁協女性部◎沖縄県▽JF糸満／（資）カワヒラ商会（自販機売上一部）ダイドードリンコ（株）沖縄オフィス経由

〔10月〕◎北海道▽JF歯舞代表理事組合長 小倉啓一第16回歯舞こんぶ祭り大抽選会（チャリティー）売上金▽JF羅臼 定置青年会―事業収益の一部◎神奈川県▽横須賀市東部漁業協同組合女性部◎富山県▽JFくろべー―自販機売上一部（株）ワンハート経由◎石川県▽中道五郎◎兵庫県▽JF林崎◎山口県▽第74回全国漁港漁場大会募金◎長崎県▽漁船海難遺児を励ます全国協議会 長崎県事務局▽中五島高等学校

〔11月〕◎青森県▽信交会◎宮城県▽JFみやぎ七ヶ浜支所―鳥羽一郎 第94回漁船海難遺児チャリティー漁港コンサート募金（七ヶ浜町産業まつり2025）◎新潟県▽内田鉄治◎富山県▽JFくろべー

―自販機売上一部（株）ワンハート経由◎三重県▽第44回全国豊かな海づくり大会―美し国みえ大会―募金◎佐賀県有明▽JF佐賀有明海◎長崎県▽中五島高等学校▽JF長崎漁連―さかな祭り募金◎大分県▽駅前ふれあい同好会カラオケサロン▽川口清次◎沖縄県▽沖縄砂利採取事業協同組合／深田サルベージ建設（株）／農林中央金庫那覇支店／沖縄県漁協参事会―第33回漁船海難遺児育英資金造成チャリティーゴルフ大会▽JF糸満／（資）カワヒラ商会―自販機売上一部―ダイドードリンコ（株）沖縄オフィス経由

2、一般寄附

〔9月〕◎北海道▽清水泰◎青森県▽道の駅ふかうら―かそせいかわき村―◎東京都▽阪井光平▽東京岩水会▽島一雄様卒寿祝賀会発起人▽鈴木和子◎鳥取県▽浜野茂夫◎香川県▽モリ ケイゴ◎高知県▽高知県水産技術職員「送る会」◎佐賀県▽玄起海―玄海うみまちマルシェ募金

〔10月〕◎北海道▽清水泰◎岩手県▽全国海友婦人会 宮古支部、山田支部／全日本海員組合 岩手事務

所―全日海 本部経由◎埼玉県▽小林哲朗▽植松千代子◎東京都▽阪井光平▽鈴木和子◎大阪府▽松井優紀子◎奈良県▽奈良県魚食普及協議会―塩サンマ無料配布イベント募金◎鳥取県▽浜野茂夫◎福岡県▽（一社）福岡市中央卸売市場鮮魚市場協会／福岡市鮮魚仲卸協同組合―自販機売上一部―コカ・コーラボトラーズジャパン（株）経由

都道府県別学資給与奨学生数

(2025年12月末現在 / 単位: 人)

都道府県	給与奨学生					合計
	幼児	小学校	中学校	高校等	大学等	
北海道		3	5	7	4	19
青森		1	3			4
岩手		1	2	(1) 6	2	(1) 11
宮城		2	1	1	3	7
秋田						
山形						
福島	1	3	2	3	3	12
茨城			1	1		2
千葉		1	1	4	2	8
東京						
神奈川				2		2
新潟					1	1
富山				1	2	3
石川	1			(1) 3		(1) 4
静岡		1				1
愛知				1	1	2
福井		1				1
三重				2		2
京都						
大阪						
兵庫	1		1		1	3
和歌山				3	2	5
鳥取			2			2
島根		1				1
岡山						
広島						
山口						
徳島						
香川				1		1
愛媛				1	1	2
高知		1	1			2
福岡					1	1
福岡有明					1	1
佐賀玄海	1					1
佐賀有明						
長崎				3	3	6
大分						
熊本			2	2	1	5
宮崎					1	1
鹿児島	1	1			1	3
沖縄				1	2	3
合計	5	16	21	(2) 42	32	(2) 116

注：（ ）内は特別支援学生で内数である。

2025年度

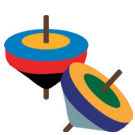
第3回奨学生選考委員会

2025年度第3回奨学生選考委員会を前面にて開催し、「出願者（10月15日締切）の選考」について、選考委員全員の同意（10月31日付）を受け、この結果、小学生1名の採用が決定されました。

なお、新規奨学生を加えた12月末現在の奨学生数は、別表（最終頁記載）「都道府県別奨学生数」とおりです。

寄附者からのお便り

*やつとガザ停戦です。いつも犠牲者は弱者です。強い者が勝つとなれば…弱い立場の団結力↓困難をのりきる。（埼玉県）



編集後記

▼新年あけましておめでとうございます。皆さん良い年を迎えられましたでしょうか？我が家は高校受験の娘がいるので、ちよっぴりいつもとは違うお正月となっています。

全国の受験生の皆さん!!もう少し頑張れば思いっきり羽根が伸ばせる日が待っていますよ!!あと、ひと踏ん張り脳みそを鍛え上げましょう。

▼昨年は、なんだかんだ運が悪く抽選にはずれまくり：コンサートやフェス、ミュージカルや演劇に全然行けなかった。笑顔チャージ不足である。今年はお笑いも計画にぶち込み、たくさん笑顔にさせていただく予定です。（K）

▼今年もたくさんさんのイベントにて皆さんの顔が見られると嬉しいです。あわせて、本会募金活動が邪魔しても良いよ!というイベントがありましたら、本会ホームページお問い合わせよりお声掛けいただけると幸いです。（担当…高橋）